

# 豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（基本目標・KPI）実績評価シート

【達成状況： ①達成⇒達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満】

| 【基本目標】   | 数値目標                                 | 基準値  | 目標値（R2）                                     | 実績値   | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）   | 達成度  |
|--|--------------------------------------|--|---|---|--|------|
| 基本目標① しごとづくり<br>～成長力ある産業の振興、企業の発展を支え、多様な働き方が実現できる環境をつくる～ | ものづくり産業で日本を牽引し続ける<br>（製造品出荷額等の全国シェア） | 4.4%<br>（平成25年度）                             | 基準値を維持<br>（令和2年度）                           | 4.6%<br>（平成29年度）                            | 全国の製造品出荷額等（製造業）に占める「輸送用機械器具」の割合が平成25年比で約0.8%上昇していることに伴い、同産業を基幹産業とする本市においても、全国比率が上昇したと考えられる。  | 達成   |
|  | 新たな事業展開に取り組む<br>中小企業者の割合             | —<br>（平成26年度）                                | 48.8%<br>（令和2年度）                            | 49.7%<br>（令和2年度）                            | ベンチャー企業や開放特許とのマッチングによる新製品開発支援や、事業化や事業拡大に向けたピッチイベントなどを開催し、成功事例を提示することで機運の醸成を図ることができたと考えられる。   | 達成   |
| 施策   | 重要業績指標（KPI）                          | 基準値  | 目標値（R2）                                     | 実績値   | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）   | 達成度  |
| ○ものづくり企業のイノベーション創出支援                                     | イノベーションセンターへの相談件数（累計）                | 760件<br>（平成26年度）                             | 2,560件<br>（令和2年度）                           | 3,592件<br>（令和2年度）                           | 金融機関等の支援機関との連携強化や各種セミナーの開催、企業訪問などの継続実施のほか、コロナ対策に活用できる補助金・支援策セミナーなどを開催することによって、とよたイノベーションセンターが、より身近な支援機関として認知されてきたことによると考えられる。  | 達成   |
| ○戦略的な企業立地支援  | 立地企業の奨励・指定事業所数（累計）                   | 33事業所<br>（平成26年度）                            | 69事業所<br>（令和2年度）                            | 88事業所<br>（令和2年度・累計）                         | 景気動向により引き続き投資を行う企業が多く存在するため。   | 達成   |
| ○産業型農・林業の振興  | 担い手への農地利用集積面積                        | 1,299ha<br>（平成26年度）                          | 1,600ha<br>（令和2年度）                          | 2,152ha<br>（令和2年度）                          | 平成26年度から農地中間管理機構がに設置されたため。平成29年8月から農地利用最適化推進員が設置されたため。利用権設定の制度の認知度が上がったため。   | 達成   |
| ○産業型農・林業の振興  | ①素材生産量<br>②素材生産額                     | ①26,305m <sup>3</sup><br>②294百万円<br>（平成26年度） | ①31,339m <sup>3</sup><br>②376百万円<br>（令和2年度） | ①31,532m <sup>3</sup><br>②249百万円<br>（令和2年度） | 平成30年8月に中核製材工場が本格稼働を開始し、令和4年度のフル稼働に向け段階的増産を進めることで、安定的な原木生産体制が構築されたためと考えられる。ただし、昨年度までの中核製材工場への供給量はいずれも目標値を上回っているものの、木材価格の低迷もあり、生産額は上昇していない。                             | 概ね達成 |
| ○企業・大学等と連携した近未来技術やシステムの実証支援                              | ミライチャレンジ実証支援事業数（累積）                  | —<br>（平成26年度）                                | 5事業<br>（令和2年度）                              | 5事業<br>（令和2年度）                              | 様々な場所（各地での講演や当市への視察時の講義など）で本事業の取組や実績のPRを実施することにより、それを聞いた企業が本事業を活用するといったプラスの循環を生み出すことができたことが大きな要因と考えられる。  | 達成   |
| ○若者・女性・高齢者の働く環境・しごとの創出支援                                 | 就労に関する相談件数                           | 2,658件<br>（平成26年度）                           | 3,000件<br>（令和2年度）                           | 3,881件<br>（令和2年度）                           | 平成22年4月に開始した無料職業紹介事業についての、市民からの認知度が向上した結果、相談件数が増加したと考えられる（来所者数に占める相談件数の割合が上昇している。H26年度30.6%→R2年度56.7%）。※この実績には、平成30年2月に開設した女性しごとテラスの相談件数は含んでいない（参考：令和2年度しごとテラス実績728件）。 | 達成   |

## 豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（基本目標・KPI）実績評価シート

【達成状況： ①達成⇒達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満】

| 【基本目標】   | 数値目標                                      | 基準値                           | 目標値（R2）                   | 実績値                          | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）  | 達成度 |
|--|---|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|---|-----|
| 基本目標② 人の流れ、賑わいづくり<br>～魅力をつくり、新たな人の流れを生み出す環境をつくる～ | 都市と山村の交流事業参加者数                            | 12,601人<br>（平成26年度）           | 18,480人<br>（令和2年度）        | 4,909人<br>（令和2年度）            | 新型コロナウイルス拡大感染に伴う緊急事態宣言により、大規模な交流事業の中止や縮小等が相次いだため、実績値も昨年に比べ大幅に減少したと考えられる。  | 未達成 |
|  | 年間総延べ宿泊者数                                 | 522千人<br>（平成25年）              | 622千人<br>（令和2年）           | 558千人<br>（平成30年）             | （令和元年度以降、宿泊旅行統計調査の統計方法変更により数値未把握）   | —   |
| 施策   | 重要業績指標（KPI）                               | 基準値                           | 目標値（R2）                   | 実績値                          | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）  | 達成度 |
| ○都市と山村交流（人・モノなどの循環）の活性化                          | 山里交流コーディネート数<br>（累計）                      | 55件<br>（平成26年度）               | 229件<br>（令和2年度）           | 266件<br>（令和2年度）              | 新型コロナウイルス拡大感染に伴う緊急事態宣言により、大学、企業、団体等と地域とのコーディネートが難しい状況が続いているが、コロナ禍でも密になりにくい山村地域かつ、屋外の事業が多かったことも達成につながった要因と考えられる。   | 達成  |
| ○中心市街地の魅力づくり                                     | 大規模空きテナントの発生状況                            | 0件<br>（平成25年度）                | 0件<br>（令和2年度）             | 0件<br>（令和2年度）                | 中心市街地テナントミックスビジョン再構築プロジェクト会議において、今後発生する予定の空きテナントに対応するため、テナントミックスビジョンを見直し、共有を図ることができたためと考えられる。また、周辺市町での大型商業施設の出店に対する課題及びテナントビルにおける整備方針の共有を図り、魅力的な店舗の維持を図ることができたためと考えられる。   | 達成  |
| ○訪れたいくなるまちづくり                                    | 観光入込客数                                    | 1,059万人<br>（平成26年度）           | 1,228万人<br>（令和2年度）        | 736万人<br>（令和2年度）             | 豊田市美術館でジブリの立体建造物展が開催された平成28年度は急激に数値が伸びたため、その後減少しているように見えるが、総じて徐々に数値は伸びた。しかし平成30年度は台風の影響によるおいでんまつり開催中止などに伴い、減少した。<br>その後豊田市美術館でのクリムト展開催やRWC2019の開催効果により回復を見せたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い、観光客はさらに激減した。よって目標値との乖離が発生してしまい、未達成となった。           | 未達成 |
| ○国際大会を契機とした都市の国際化推進                              | 外国人が訪れたことのある市内観光地・施設・文化・芸術施設数             | 平均4.75か所<br>／21か所<br>（平成23年度） | 平均7か所<br>／21か所<br>（令和2年度） | 平均5.06か所<br>／21か所<br>（令和2年度） | ・経年比較では微増（H28年度：5.05か所／21か所）の結果となった。外国人の訪問意向がある（魅力がある、認知度が高い）施設はほぼ固定化されている。<br>・新規の来訪者獲得に向けては、多言語対応をはじめとした更なるPR等の充実が考えられる。<br>・実績値の根拠となる外国人住民意識調査を実施した令和3年1～2月においては、新型コロナウイルス感染症対策による施設の休館・入場制限等が影響し、外国人の施設への訪問意向が低減したことが想定される。 | 未達成 |
| ○シティプロモーション推進                                    | 交流定住関連ポータルサイト閲覧数                          | 40,000件<br>（平成27年度）           | 60,000件<br>（令和2年度）        | 48,278件<br>（令和2年度）           | ・WEB広告の効果的な配信及びデザイン制作や複数のマスメディアで取り上げることで、数値が上昇したと考えられる。<br>・2020年度はファースト暮らしとよたをリニューアルしたことで、数値が上昇したと考えられる。   | 未達成 |
| ○多様な住宅・宅地の供給                                     | 「多様な居住ニーズに応じた住宅や宅地が供給されるまち」として満足している市民の割合 | 34.3%<br>（平成26年度）             | 43.2%<br>（令和元年度）          | 35.8%<br>（令和3年度）             | 引き続き、都市部における住宅・宅地の供給、山村部における移住・定住の促進を図っていく。   | 未達成 |

## 豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（基本目標・KPI）実績評価シート

【達成状況： ①達成⇒達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満】

| 【基本目標】   | 数値目標   | 基準値                  | 目標値（R2）             | 実績値                 | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）   | 達成度  |
|--|--|----------------------|---------------------|---------------------|--|------|
| 基本目標③ 子どもを<br>生み育てる希望の実現<br>～安心して子どもを生<br>み育てられる環境をつ<br>く～ | 待機児童ゼロの継続（年度<br>当初時点）                              | 0人<br>（平成27年度）       | 0人<br>（令和2年度）       | 0人<br>（令和2年度）       | ・公立幼稚園の保育所認可化、私立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行及び公私立こども園等における増改築整備により、基準値の維持に寄与したと考えられる（0～2歳児の受入れ枠について平成27年度から379人増加した）。<br>・また、企業主導型保育事業の広がりも0～2歳児の受入れ枠の拡大に寄与していると考えられる。  | 達成   |
|  | 0～3歳児を持つ女性の就<br>業継続者割合                             | 34.4%<br>（平成23年度）    | 37.5%<br>（平成30年度）   | 50.7%<br>（平成30年度）   | 第3次とよた男女共同参画プランでの重点施策「ワーク・ライフ・バランスの推進」、豊田市女性活躍推進計画の重点施策「様々な分野で男女共同参画を実践する職場・家庭・地域づくり」の取組、及び第4次とよた男女共同参画プランでの重点取組「働き方改革の推進」により、女性の継続就労意識の醸成、男性の家事育児に関する当事者意識の高揚、ワーク・ライフ・バランスの推進への職場風土の変革などの効果が発現したと考えられる。 | 達成   |
| 施策   | 重要業績指標（KPI）  | 基準値                  | 目標値（R2）             | 実績値                 | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）   | 達成度  |
| ○若者の出会いの場の提供   | 出会いのイベント参加満足<br>度                                  | 87.6%<br>（平成26年度）    | 95%<br>（令和2年度）      | 95%<br>（令和元年度）      | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で対面での事業が行えなかったが、オンラインを用いて出会いの場の提供を行った。場の提供だけではなく、事前に講座等を行うことで、満足度の向上につながったと考えられる。   | 達成   |
| ○安心して子どもを生み<br>育てられる環境づくり                                  | 生後3か月までの子育て家<br>庭訪問の割合（全出生児数<br>に対する訪問実施人数の割<br>合） | 97%<br>（平成25年度）      | 基準値以上を維持<br>（令和2年度） | 91.2%<br>（令和2年度）    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1子に限定しておめでとう訪問を実施。<br>里帰り期間が長くなっていること等が影響し、訪問率が減少した。   | 概ね達成 |
| ○待機児童・放課後児童<br>対策の充実                                       | 待機児童ゼロの継続（年度<br>当初時点）                              | 0人<br>（平成27年度）       | 0人<br>（令和2年度）       | 0人<br>（令和2年度）       | ・公立幼稚園の保育所認可化、私立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行及び公私立こども園等における増改築整備により、基準値の維持に寄与したと考えられる（0～2歳児の受入れ枠について平成27年度から379人増加した）。<br>・また、企業主導型保育事業の広がりも0～2歳児の受入れ枠の拡大に寄与していると考えられる。  | 達成   |
| ○子どもの可能性を伸ば<br>す環境づくり                                      | 特色ある学校づくり推進事<br>業                                  | 全小中学校で実施<br>（平成26年度） | 全小中学校で実施<br>（令和2年度） | 全小中学校で実施<br>（令和2年度） | ・校長の自由裁量による予算措置を講じ、各学校が人的配置を効果的に学校づくりに役立てられるようにすることができた。<br>・各学校が学校だよりやホームページで保護者・地域に適宜発信し、事業に対する関心を高めるとともに協力体制づくりを進めることができた。  | 達成   |
| ○市民や企業とともに進<br>めるワーク・ライフ・バ<br>ランスの取組推進                     | 働きやすい職場環境を目指<br>す優良事業所表彰制度への<br>応募件数               | 9件<br>（平成26年度）       | 15件<br>（令和2年度）      | 24件<br>（令和2年度）      | 関連法施行に伴い、働き方改革に対する事業所の関心が高まったことや、表彰制度及びその受賞効果に関する周知が図られていることが考えられる。  | 達成   |

## 豊田市まち・ひと・しごと総合戦略（基本目標・KPI）実績評価シート

【達成状況： ①達成⇒達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満】

| 【基本目標】   | 数値目標   | 基準値                          | 目標値（R2）                       | 実績値                       | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）  | 達成度      |
|--|--|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|---|----------|
| 基本目標④ 時代に合った地域づくり<br>～コミュニティを基盤としたつながりの構築と安全・安心して暮らせる環境をつくる～ | 豊田市に長く住みたいと思う市民の割合   | 78.3%<br>（平成26年度）            | 85%<br>（令和元年度）                | 79.9%<br>（令和3年度）          | 前回調査時（令和元年度）より1.8ポイント上昇した。平成15年調査時点から同水準で推移しており、引き続き、都市部における住宅・宅地の供給、山村部における移住・定住の促進及びまちの魅力を共有を図っていく。   | 未達成      |
|  | 地域の活動に参加している市民の割合  | 43.4%<br>（平成26年度）            | 65%<br>（令和元年度）                | 46.9%<br>（令和3年度）          | 前回調査時（令和元年度）より9.8ポイント減少しているものの、引き続き、子どもから高齢者まで、地域社会の中で自分らしく活躍できる機会や場の充実を図っていく。  | 十分とは言えない |
| 施策   | 重要業績指標（KPI）  | 基準値                          | 目標値（R2）                       | 実績値                       | 効果発現要因<br>（指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等）  | 達成度      |
| ○環境先進都市の推進   | 再生可能エネルギー導入率   | 23.0%<br>（平成26年度）            | 25.4%<br>（令和2年度）              | 26.9%<br>（令和2年度）          | スマートハウス補助金や固定資産減税など当市独自の施策の効果もあり、太陽光発電設備数及び容量が増加したことで、目標値を上回る実績値となった。   | 達成       |
| ○ふるさとへの愛着づくり   | 市内で採れた農産物を購入しよう心がけている市民の割合   | 63.5%<br>（平成26年度）            | 70%<br>（令和元年度）                | 53.9%<br>（令和3年度）          | 指標値において、特に若い世代において低い傾向がある。そのため、若い世代への「農業」「農家」に対する理解促進手法の改善を進める。   | 未達成      |
| ○まちづくりにおける官民連携・共働の推進   | 複数大学の連携による共同課題（テーマ）への対応数（累積）                                       | —<br>（平成26年度）                | 4テーマ<br>（令和2年度）               | 7テーマ<br>（令和元年度）           | （令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業未実施）学生と企業等がつながりアドバイスを受けながら、学生が企画を提案した。ゼミ単位での参加や各賞の交付により、参加のしやすさ・モチベーションの向上を図り、テーマの対応数の向上に繋がったと考えられる。   | 達成       |
| ○医療・介護需要への対応   | 地域包括支援センターの設置数（基幹包括支援センターを除く）                                      | 25か所<br>（平成26年度）             | 28か所<br>（令和2年度）               | 28か所<br>（令和2年度）           | 身近な場所で相談したいという市民の声を受け、中学校区に1か所を目標に整備を進めてきた。平成31年4月に28か所目が開所し、目標を達成した。   | 達成       |
| ○地域の生活拠点、公共交通ネットワークの形成                                       | バス（基幹バス、地域バス及び民間バス）における1日あたりの平均乗車人数                                | 13,281人/日<br>（平成26年度）        | 15,309人/日<br>（令和2年度）          | 8,669人/日<br>（令和2年度）       | 新型コロナウイルス感染症による影響で、休校や働き方改革が進んだことにより、利用者が大幅に減少したため。加えて、利用促進のイベントも軒並み中止になったため。   | 未達成      |
| ○地域防災力の向上  | 災害対策推進計画の策定（地震、風水害、大雪などの自然災害対策全体を取りまとめ、目標値、年次計画等の設定により、着実に事業を推進する） | 災害対策推進計画の策定検討<br>（平成27年度）    | 災害対策推進計画の策定<br>（平成28年度）       | 災害対策推進計画の策定済<br>（平成28年度）  | ・災害対策基本法に基づき毎年改定している豊田市地域防災計画の実効性を高めるとともに、自助、共助、公助の理念に基づき、市民、事業者、市の適切な役割分担の下、市の災害対策の更なる充実を図ることを目的として、本市として独自の自然災害全般を対象とした災害対策推進計画を策定することができた。<br>・策定後も毎年進捗状況を管理することにより計画性の実効性を高めることができたと考えられる。<br>・事実、策定時に計画した重点事業136事業、その他事業112事業、（合計248事業）のうち、令和元年度末までに重点事業で8事業、その他事業で18事業が完了した。<br>・令和2年度においては、中間評価と計画の改訂を行った。 | 達成       |
| ○公共施設の適切な管理  | 公共施設等総合管理計画の策定   | 公共施設等総合管理計画の策定検討<br>（平成27年度） | 公共施設等総合管理計画の策定・運用<br>（平成28年度） | 公共施設等総合管理計画の改定<br>（令和2年度） | 公共施設等総合管理計画の策定・運用の中で、計画的な施設管理を行うことで、公共施設の適切な管理ができるようになった。   | 達成       |